

句法などの課題を教材ごとに付しました。

文法・古語などの課題を教材ごとに付しました。

◆文法と文意の整理◆

1 「宋有「狙公者」。(一九八・一)を書き下し文にしたときの、①主語、②述語、③連用修飾語にあたる部分を答えなさい。

① ② ③

2 副詞の①「俄」(一九八・二)と②「俄」(同・五)が本文で果たして

◆文法と文意の整理◆

1 「宋有「狙公者」。(一九八・一)を書き下し文にしたときの、①主語、②述語、③連用修飾語にあたる部分を答えなさい。

① ② ③

2 副詞の①「俄」(一九八・二)と②「俄」(同・五)が本文で果たして

解答

第12章

読みつがれることば

朝三暮四

列子・莊子

教科書
198～199
ページ

読みつがれることば—82

「朝三暮四」の準拠課題ノート

第1章

古文への扉

児のそら寝

教科書
19～21
ページ

◆文法と語句の確認◆

1 文法 次の表のワ行の空欄に、歴史的仮名遣いを、ア行にならって書き入れなさい。

ワ行	ア行	イ行	ウ行	エ行	オ行
	あ	い	う	え	お
	ア	イ	ウ	エ	オ

2 文法 次の傍線部を現代仮名遣いになおしなさい。

①よひのつれづれに

②寝ざらむも

③待ちぬたるに

④うれしと思へども

⑤いまひとこゑ

⑥ただ食ひに食ふ音のしければ

⑦いらへむ

⑧おどろかせたまへ

3 語句 次の語句の意味を書きなさい。

①つれづれ(一九・一)

②わろし(同・三)

③いらふ(二〇・一)

いる表現効果を次から選び、記号で答えなさい。

ア「衆狙」に考える時間を与えなかったことを表す。

イ「狙公」の対策が一時しのぎであったことを表す。

ウ状況の転換を表す一方、本旨に向かう契機としている。

3 「朝三暮四」(「列子」)の本文にある三種類の置き字に抜き出しなさい。また、それぞれの種類を上から答えなさい。

ア強調 イ疑問

ウ対象 エ接続

4 「朝三暮四」(「列子」)について、「衆狙」はなぜ「怒って、「朝四暮三」には喜んだのか。一つ選びなさい。

ア夕方実を多くもらうより、朝に多くもらうほうが実が減らされるのではないと分かったから。

イ実が減らされるのではないと分かったから。

ウあとのほうが実は多くもらえと思ったから。

5 「朝三暮四」(「莊子」)の方は、何を言おうとしてい

別冊解答つき。

「児のそら寝」の準拠課題ノート